

質 疑 ・ 回 答 書

(1/5)

件 名	我孫子市立並木小学校屋上防水、外壁等改修工事（公契約）	発注番号	23540
		発注主管課名	教育委員会総務課
質 疑		回 答	
<p>1 設計図書の優先順位 ①質問回答書→②現場説明書→③特記仕様書→④設計図→⑤参考内訳書→⑥標準仕様書でよろしいでしょうか。</p> <p>2 A-02.1.7 条件明示項目 仮設工事、外部足場組立、洗浄、外壁調査、硝子シール打替（外部面）などは学校及び監督員と協議の上、平日施工可能と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>3 A-02.1.7 条件明示項目 外壁塗膜除去作業（アスベスト含有）は夏休み中完了との施工条件ですが調査数量や天候不順などにより完了できない場合が想定されます。その場合は工期延長も含め、協議でよろしいでしょうか。</p> <p>4 A-03.3.3 既存防水層の処理 A-11 改修仕上表 既存保護層および防水層の撤去は行わないとありますが、仕上表では屋上立上りは保護層、防水層ともに撤去です。仕上表を正とし、立上りのみ撤去でよろしいでしょうか。</p> <p>5 A-27、28、29 矩計図 屋上 水上部平場の既存防水押えコンクリート影響範囲を撤去しているように見受けられるが、寸法など図示がなく、参考内訳にもありません。誤記と考えてよろしいでしょうか。</p>		<p>1 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年度版 1.1.1一般事項（4）優先順位に記載のとおりとします。</p> <p>2 発注主管課、学校及び監督職員と協議し、認められた作業については平日作業可とします。</p> <p>3 A-02.1.7「施工条件等」に記載のとおり、生徒への安全性を考慮し、外壁塗膜除去作業（アスベスト含有）については原則、夏休み期間中に完了させてください。天候不順等の対応については現場協議とします。</p> <p>4 お見込みのとおりです。</p> <p>5 A-27, 28, 29 では屋上立上り撤去に伴う、あご下部分までの補修範囲を図示しています。工事設計内訳書P15で立上りについてはH=300程度 t=20のモルタル補修、平場部分については全面樹脂モルタル下地調整を見込んでいますが、立上り撤去時の状態により最終的な補修方法については現場協議とします。</p>	

質 疑	回 答
<p>6 参考内訳 24 A-27、28、29 矩計図 A-44 雑詳細 内訳 24 環境配慮改修ひび割れ部撤去幅 100 mm程度笠木取り合い 953mとありますが、屋上笠木モルタル及び図面 A44 階段 手摺壁笠木モルタル撤去部のカッター入 れ部分が該当と考えてよろしいか。</p>	<p>6 お見込みのとおりです。</p>
<p>7 参考内訳 19 参考内訳 24 内訳 15、16 全面内訳樹脂注入 138m、 内訳 19 壁改修ひび割れ補修エポキシ樹脂 注入自動式低圧 959mの環境配慮改修は 内訳 24 環境配慮改修ひび割れ部撤去幅 100 mm程度笠木取り合い 953mに含まれて いるのでしょうか。</p>	<p>7 工事設計内訳書 P15 「モルタル浮部 改修 全面エポキシ樹脂注入 138m」 P16 「モルタル浮部改修 全面エポキ シ樹脂注入 96.5m」 P19 「外壁、軒天 エポキシ樹脂注入 自動式低圧 ひび割れ 補修 959m」 など塗膜の除去を伴わない 箇所については、P24 環境配慮改修には含 みません。事前調査等により対応が必要 な場合は現場協議とします。</p>
<p>8 A-08.9.2 粉塵濃度測定 参考内訳 24 図面 A-08 では測定箇所が、施工前・ 中・後 各 4 方向 2 か所、計 24 回です が、内訳 24 では、3 項目、施工前・中・ 後の各 2 か所、18 回です。特記仕様を正 でよろしいでしょうか。</p>	<p>8 お見込みのとおりです。</p>
<p>9 A-04.4-4.3 既存塗膜の除去 塗膜の除去はグローブバック同等とあ りますが、今回除去部は塗膜下の下地補 修材の為、グローブバックは不可です。 吸引式サンダー+部分囲い込み養生で見 込みますがよろしいでしょうか。</p>	<p>9 塗膜下の下地補修材も含めてグロー ブバック工法で対応可能と考えます が、A-04_4-4_3, A-08_9_1 に記載さ れた「建築物等の解体等に係る石綿ば く露防止及び石綿飛散漏えい防止対策 徹底マニュアル」に沿った撤去計画で 同等と判断できる工法であれば協議に 応じます。</p>

質 疑	回 答
<p>10 A-27、28、29 矩計図 屋上笠木汚垂部に水切テープ【新設】とありますが、参考内訳に記述がありませんが必要でしょうか。またパラペットの防水範囲ですが、外壁出隅から水切テープ迄（あご下端不要）でよろしいでしょうか。</p>	<p>10 水切りテープは必要で本工事に含まれます。防水の施工範囲については外壁出隅からあご下端も含まれます。</p>
<p>11 A-11 仕上表 防水改修 A5) 伸縮目地 PU-2 充填部に X-1（通気緩衝工法）を施工する場合、絶縁テープは不要と思われませんが、必要でしょうか。また絶縁テープを増し張る場合はどのようなものをお考えでしょうか。</p>	<p>11 絶縁テープの施工及び仕様については現場協議とします。</p>
<p>12 A-11 仕上表 防水改修 A5) 伸縮目地 PU-2 充填部に絶縁テープを増し張した場合、施工箇所仕上りが凸部となる可能性がありますのでご了承ください。</p>	<p>12 絶縁テープの施工及び仕様については現場協議とします。</p>
<p>13. A-11 仕上表 外部改修工事 E 図面 A-04_4-1 外壁現況コンクリート打放し表記ですが、特記仕様書の外壁改修工事コンクリート打ち放し仕上に該当標記がありません。使用材の種別は仕上表を正でしょうか。また自動低圧注入工法の注入口間隔、注入量は特記仕様書にならってよろしいでしょうか。</p>	<p>13 外壁使用材料については A-11 仕上表を正とします。自動低圧注入工法について A-04_4-1_1 を参照ください。</p>
<p>14 A-04_4.4-4 下地調整材 外壁改修塗装仕上 下地調整 C-2 ですが、既存塗膜劣化部の除去および環境配慮除去部の下地補修と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>14 A-04_4 - 4_4、仕上表に記載のとおり外壁全面下地調整（C-2 程度）とします。</p>

質 疑	回 答
<p>15 A-04_4-4.4 外壁塗装下地調整 A-11 外壁改修 参考内訳 19 外壁改修仕上げ 下地調整 C-2 (軒天は C-1) を見込んでいますが、シーラ塗布が特記、仕上表、参考内訳ともに見込まれておりません。外壁、軒裏とも不要でよろしいでしょうか。</p>	<p>15 外壁部分については全面下地調整 C-2 以外にシーラ塗布は本工事に含まれます。軒天については C-1 以外見込んでいませんのでシーラ塗布については現場協議とします。</p>
<p>16 A-05.5.18 ガラス 参考内訳 21, 22 既存硝子留め材の取替範囲ですが、片面 (外部面のみ) とありますが、参考内訳 21 撤去には両面表記、参考内訳 22 改修シールには両面施工 (5912m は片面表記) と記述があります。特記優先で外部面のみ施工でよろしいでしょうか。</p>	<p>16 撤去及びシール共に両面施工とします。</p>
<p>17 A-09_10.3 参考内訳 22 図面特記にガラスクリーニング (両面) とありますが、硝子留め材が外部面のみの場合には片面でよろしいでしょうか。また参考内訳 1445 m² は片面数量でしょうか。</p>	<p>17 工事設計内訳書の 1,445 m² は建具の内法面積 (ガラス面積) となりますが、ガラスクリーニングは両面施工で見込んでいます。</p>
<p>18 A-05_6.1 内装改修 改修範囲 改修範囲、影響範囲図示とありますが、昇降口などの軒天ボード張替え以外は該当するものはなしでよろしいでしょうか。</p>	<p>18 お見込みのとおりです。</p>
<p>19 A-08_7 塗装改修 参考内訳 23 特記仕様書塗装改修が対象外ですが、今回塗替えの仕様は参考内訳 23_校舎改修_塗装改修を正としてよろしいでしょうか。</p>	<p>19 お見込みのとおりです。</p>

質 疑	回 答
<p>20 M-03 【撤去機器表】F-3 更衣室の台数に数量が記載されておりませんが1階平面図(更衣室)には1台記載がございます。平面図を正として宜しいでしょうか。</p>	<p>20 お見込みのとおりです。</p>
<p>21 M-03 撤去換気扇の種別と個数ですが、設計図と参考内訳書で異なります。設計図を正とし、F1×57台、F2×34台、F-3×1台、計92カ所でよろしいでしょうか。</p>	<p>21 工事設計内訳書 P38 の数量を正としてください。</p>
<p>22 M-03～06 換気交換部の既存アルミパネルの拡幅図面表記は40カ所ですが、①撤去F-2部分34カ所(既存100φ⇒新設200～250φ)②撤去F-1、新設FE-2の箇所18カ所(既存200φ⇒新設250φ)の計52カ所でよろしいでしょうか。</p>	<p>22 お見込みのとおりです。</p>